

FJT-12 フロアタイル



× 12

組立動画はコチラ▼



<https://youtu.be/J8ykefaTEu>

原産国 中国

この度は当商品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用前に、この取扱・組立説明書を最後までお読みのうえ、正しい使い方でご愛用ください。
なお、この説明書はいつまでもご覧いただけるように大切に保管いただきますようお願い申し上げます。



使用上の注意

誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、物的損害の発生が想定される内容を示しています。

用途:室内用フロアタイル 用途以外の目的には使用しないでください。

- 熱いものを長時間のせないでください。
- ぬれた場合はすぐ拭き取ってください。
- 火気のそばでは使用しないでください。火災や、やけど、製品の変形のおそれがあります。
- 必ず水平で安定した場所に設置してください。
- 組み替えや移動する際は、必ず載せているものを全て取り除いてから引きずらないよう持ち上げて移動してください。収納物や商品の転倒、破損、ケガの原因になります。
- 腐食やカビ・変形・変色の原因となりますので、以下のことにご注意ください。
 - ・直射日光の当たる場所や、高温多湿になる場所に長時間置かないでください。
 - ・水分、油、洗剤などが付着した場合は、素早く拭き取ってください。
 - ・シール、テープなどを貼らないでください。
- 段ボール箱からの取り出しや組み立ては、2人以上で行ってください。
- 天災などの不可抗力や、不当な修理・改造による事故・破損に対する補償は致しかねます。

点検・お手入れについて

- 汚れをおとす際は、薄めた中性洗剤で拭いた後、固く絞った布等で完全に洗剤分を拭きとってください。水分等が残りますと後が残るおそれがあります。
アルコール、ベンジン、漂白剤、みがき粉等は使用しないでください。

組立てに必要なもの

- 厚み5～6mmの「スペーサー」を約10個準備して下さい。

【スペーサーの役割】

フロアタイルを部屋に設置する際に、タイルと壁に5～6mmの隙間を作る必要があります。これは温度差による膨張で、繋ぎ目に段差が生じるのを防ぐための隙間となります。スペースを開けてフロアタイルを設置しないと、季節によってフロアタイルが膨張し正常に設置できない場合がございます。

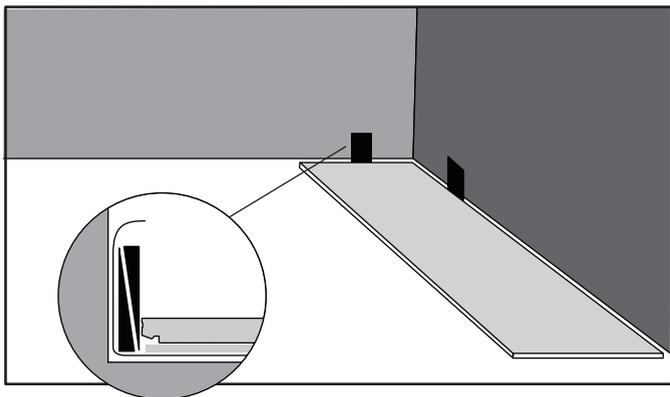
【スペーサーとして壁とフロアタイルに挟む物】

- ・フロアタイルを設置し終わるまで5～6mmの隙間を常に保てる物
- ・(例)ダンボール、端材、板、本 など。

組立方法

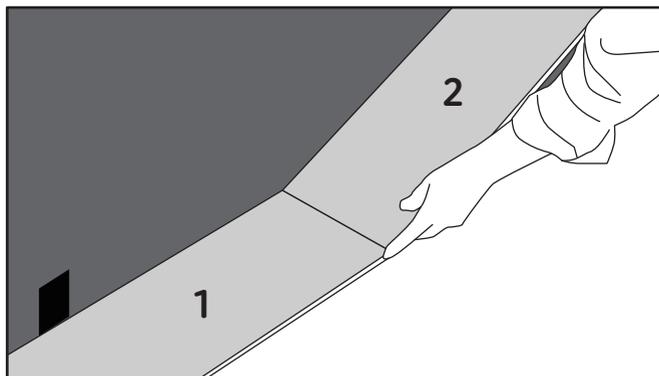
ステップ1

1枚目を敷き、スペーサーで壁際に5～6mmの隙間を作ります。
 ※温度差による膨張で、繋ぎ目に段差が生じるのを防ぐために隙間を作ってください。
 ※「スペーサー」については前頁の「使用上の注意」を参照ください。



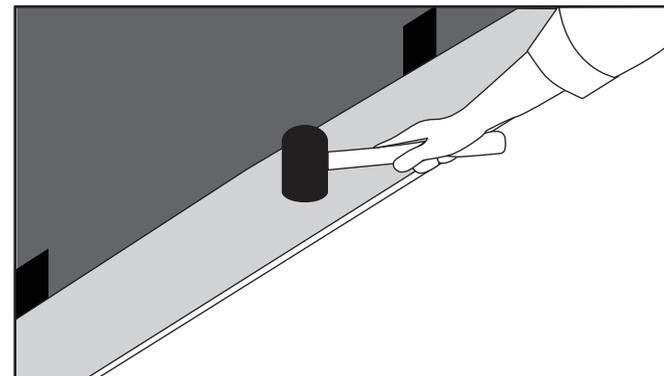
ステップ2

1枚目の右側に2枚目をはめ込み、
 2枚目にも1枚目同様スペーサーをつけます。



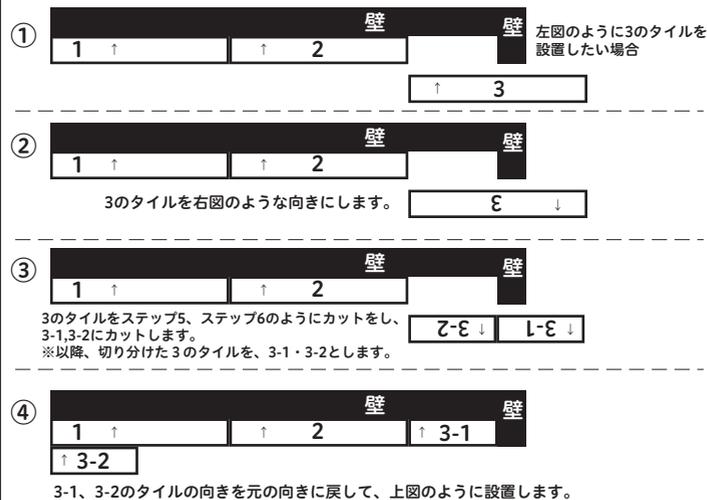
ステップ3

ゴムハンマーなどで結合部を叩き、ぴったり接合します。
 ※強くたたきすぎると割れてしまう可能性があるためご注意ください。



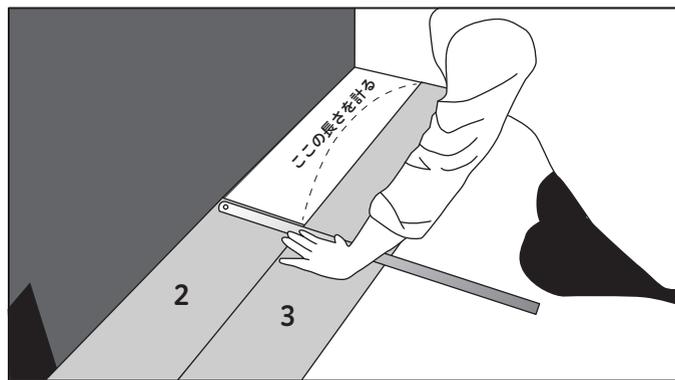
ステップ4

3枚目のタイルを設置するときは下図のように
 タイルの向きにご注意の上、
 カットし設置して下さい。(ステップ5,6参照)



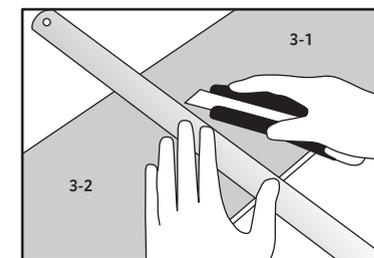
ステップ5

3枚目のタイルの向きを左右逆にして
 床の長さに合わせて必要な長さを測ります。
 ※タイル向きなどはステップ4をご参照ください。



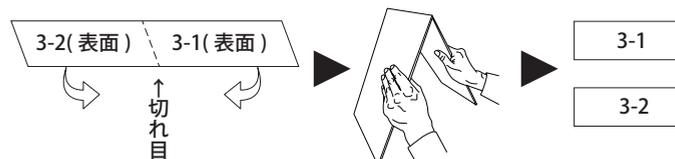
ステップ6

長さが決まったら、下図のように定規を当て、
 定規に沿ってカッターで数回切れ目をつけてください。



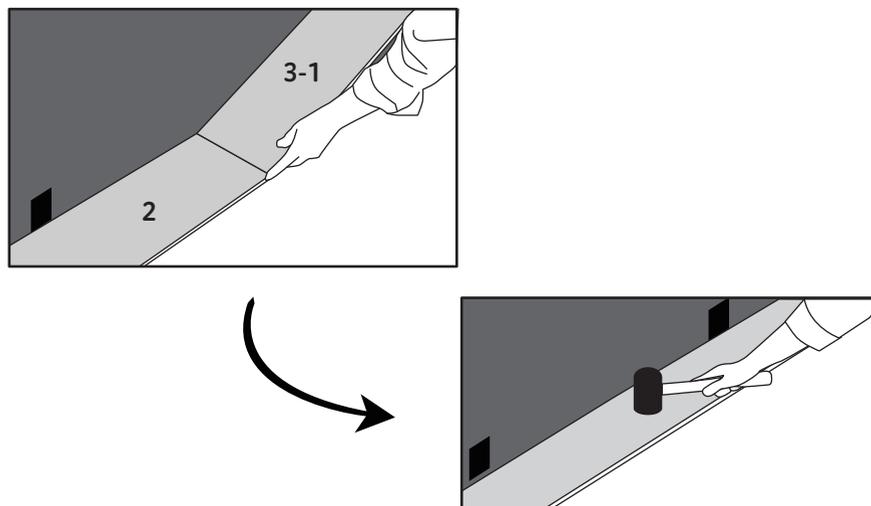
※カッター刃を取り扱う際は、
 手などを切らないように
 十分ご注意ください。

カッターで最後までカットするのではなく、
 切れ目に沿って山折りするときれいにカットできます。

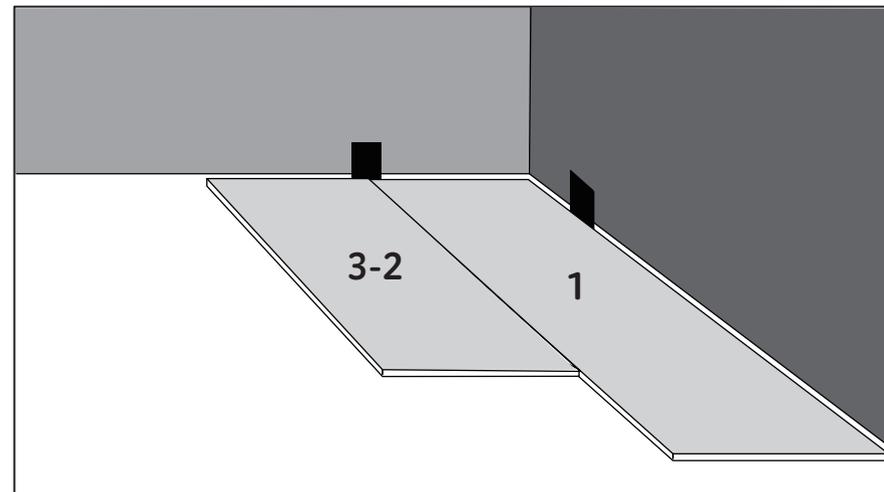


組立方法

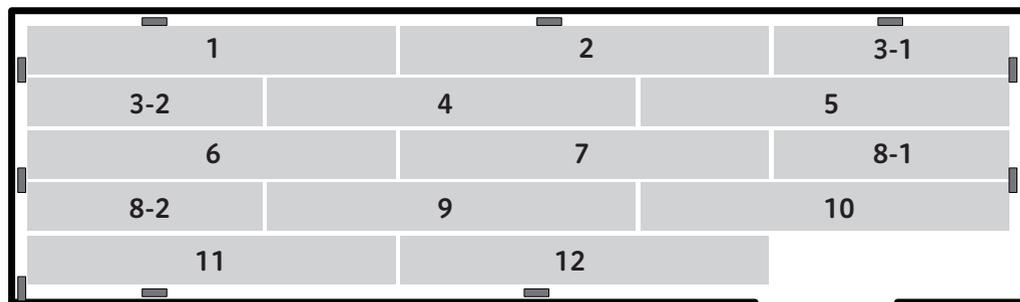
ステップ7 カットができた3-1を、**ステップ2**と同じように2のタイルに、はめ込みます。



ステップ8 1列目の残り(3-2)を2列目の最初に持っていき、2列目以降を引いていきます。



ステップ9 下のようにタイルを互い違いに並べたい場合は・・・



ステップ10 同じようにカットしながら設置して下さい。最後にスペーサーを取って完成です。

